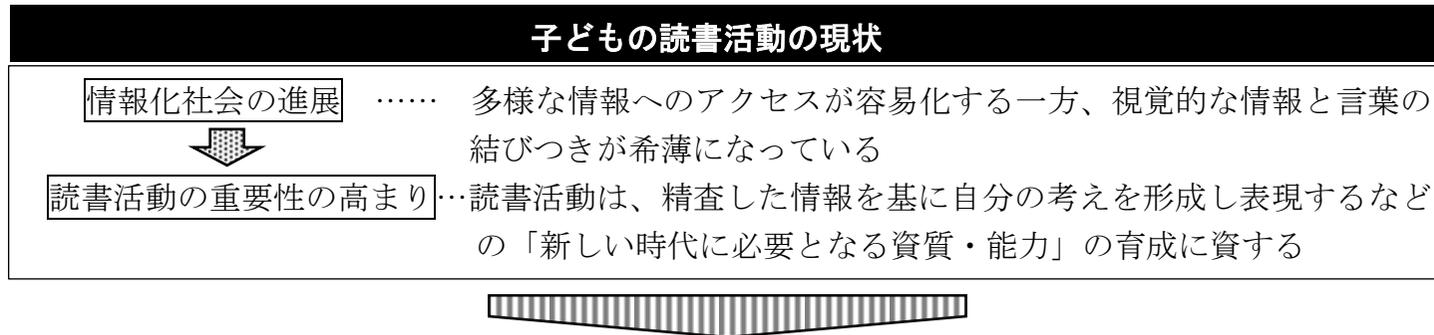


春日部市子ども読書活動推進計画（概要版）

第1章 計画策定の背景



「春日部市子ども読書活動推進計画」を策定

第2章 計画の基本的な考え方

| 目的 | 位置づけ | 対象 | 期間 | 理念・方針・体系 |
|--|----------------------------------|---------------|----------------------------------|---|
| 子どもの読書活動推進の基本的方向を明らかにし、関連施策に総合的、計画的に取り組むこと | 関連法に基づく市の計画であり、第2次総合振興計画との整合性を図る | おおむね0歳から18歳以下 | 2019年度（平成31年度）から2023年度（平成35年度）まで | 基本理念…子どもたちに生きる力と喜びを 基本方針…子どもの自主的な読書活動の推進 体系…家庭・地域・学校等における読書活動推進など、5つの施策に体系化（裏面参照） |

第3章 子どもの読書活動の状況（読書アンケート調査より抜粋）

○読書の「好き」「嫌い」

小学2年生の約9割、小学5年生の8割以上
 中学2年生・高校2年生の7割以上

➡ 読書が「好き」又は「どちらかといえば好き」

○1か月に読んだ本の冊数

小学2年生・小学5年生の9割以上
 中学2年生の約8割、高校2年生の約6割

➡ 1か月に1冊以上の本を読んでいる

第4章 子どもの読書活動推進のための取組

1

| 現 状 | 課 題 |
|---|-------------------------------------|
| 【施策1】 家庭における読書活動推進 | |
| ブックスタート事業や乳幼児向けおはなし会等、乳幼児と保護者が本に親しむきっかけとなる取組を実施している | 子どもが成長しても読書習慣を継続するような取組の拡充が望まれる |
| 【施策2】 地域における読書活動推進 | |
| 図書館、子育て支援施設、社会教育施設等で児童書の所蔵や貸し出し、読書活動推進のための取組を実施している | 読書の機会が減少する中高生に対する一層の働きかけが必要とされる |
| 【施策3】 学校等における読書活動推進 | |
| 学校、幼稚園、保育所（園）ごとの読書意欲向上の取組と、司書職員等による学校図書館支援を実施している | 図書標準の全校達成と学校図書館支援の更なる充実が求められる |
| 【施策4】 子どもの読書への関心を高める取組 | |
| 図書館や学校ごとに子ども同士で本を薦め合う取組を実施している | 同世代の関わりを通じた取組の拡充が求められる |
| 【施策5】 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進 | |
| 「子ども読書の日」等の機会を捉え、子どもの読書活動の啓発・広報に努めている | 読書活動の意義や重要性についての啓発・広報活動の機会拡大が必要とされる |

第5章 計画の推進に向けて

| 主な具体的取組 | 数値目標 |
|--|---|
| 家族で読書をし、コミュニケーションを深める「家読（うちどく）プロジェクト」を実施し、家庭での読書習慣の形成を図る | <ol style="list-style-type: none"> 1.ブックスタート配付率の向上 2.図書館の児童書貸出数の増加 3.図書標準達成校の増加 4.子ども同士の取組の参加者数の増加 5.「子ども読書の日」「文字・活字文化の日」関連事業参加者数の増加 |
| 図書館で中高生の読書活動推進のための取組の充実を図るとともに、司書職員の学校図書館支援の体制を活用し、図書館と学校との一層の連携に努める | |
| 学校と司書職員が連携し、読書好きな生徒を育成する取組や複数校にまたがる読書活動推進の取組を実施する | |
| 子ども同士で本を紹介し合う機会を拡充し、読書活動の更なる促進を図る | |
| 図書館でファミリー読書月間を設定し、定期的に子どもの読書活動に対する興味を喚起し、啓発・広報活動を推進する | |
| | 成果指標 |
| | <ol style="list-style-type: none"> 1.読書が好きな子どもの増加 2.不読率[※]の減少 |
| | ※不読率…1か月に1冊も本を読まない子どもの割合 |